

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271601223		
法人名	株式会社 新上五島在宅ケアセンター		
事業所名	グループホームあいりん		
所在地	〒857-4402 長崎県南松浦郡新上五島町奈摩郷910-10		
自己評価作成日	平成31年3月22日	評価結果確定日	令和元年 5月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.wam.go.jp/wamappl/hvoka/003hvoka/hvokokka.nsf/aResult?OpenAgent&P=1
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 医療福祉評価センター		
所在地	長崎市弁天町14番12号		
訪問調査日	平成31年4月6日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「心と心のつながりを 人と人とのふれあいを大切に」との理念のもと、安心、安全、快適な生活ができるよう支援しております。お客様の個性を大切に目配り、気配り、心配りを日々、心掛け、寄り添ったケアに取り組んでいます

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理念の実践の部分から、「心と心のつながりを 人と人とのふれあいを大切に」の実践として、施設の行事にお客様の家族も積極的に参加を促して、ご家族様同士のふれあいを通して、その延長に地域との繋がりをも深化させている。ホームとしてはご家族様を巻き込むことで、お客様の笑顔がより一層増えるとの想いから始めたことで、「人と人のつながり」を重要視している。また、毎年地域貢献の幅が広がっていて、法人としての地域貢献活動が、お客様の地域での日常的な交流にも繋がっている。全般的な視点として、職員の援助が献身的で、1つ1つの関わりにぬくもりを感じることができた。例えばお客様の笑顔のために、手間暇を惜しまず様々な行事を企画したり、職員があるお客様用の個別機能訓練用の踏み台をすぐに作って、その日から個別訓練を開始する等、「お客様のために」の精神が溢れていた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を目につきやすい所に掲げ、共有し実践している	「心と心のつながりを 人と人とのふれあいを大切に」という理念の中には、お客様とのつながりやふれあいだけでなく、ご家族様との関係や、地域との関わりを含めて、広義の「つながり」であり、「ふれあい」の意味が含まれている。また、お客様、ご家族様、職員がふれあう機会として、新たに花見の企画を催して、特にご家族様同士の親睦が深まった。あと、職員に対する理念の周知方法であるが、定期的で開催されている部署ミーティングの場において、目標に対する進捗状況や、同じ価値観や方向性を向いているか、その都度確認作業を行っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事などに参加したり、散歩時、挨拶などで交流している	法人として開設当初より、地域への貢献度は高く、地域活性化のため献身的な立場で取り組みを続けているが、ここ最近の地域貢献の具体例として、地域で企画している「ほしぞらツアー」の観光ガイドに法人の職員が登録して、活性化に一役買っている。更に『五島の灯まつり』という地域イベントの主催的立場を担っており、地域に人が集まるよう一役買っている。このように職員が地域での存在感を示すことで、自然とお客様と地域との接点も増えている現状を、ヒアリングの中から確認した。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域行事において理解していただけるよう関わりを行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員、ご家族様に参加していただき情報交換を行い、サービス向上に取り組んでいる	運営推進会議では施設の運営状況を伝え、できるだけ意見交換会に時間を割くように努めている。参加者から出てくる意見を議事録から見てみると、職員が頑張りすぎて、体調を崩さないか心配する声が目立った。職員はこの声を反映して健康管理を意識するようになり、できるだけ早く帰るように心がけるようになったとのことであった。	施設の行事等で定期的な運営推進会議の開催ができなかった。地域と行政と施設をつなぐ重要な会議と位置付けられているため、次年度は計画的な会議の開催を期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加していただき、意見交換、助言をいただき協力関係を築いている	施設と行政機関との接点が一番考えられるのは運営推進会議であるが、この関わり以外に、地域包括支援センターより「認知症カフェ」へ参加の促しがあったり、行政主催の研修(最近参加した際のテーマは終活)に参加している。これら以外にも、お客様が入退院した際、病院や関係機関との連携が取りやすいように、共通の「情報シート」を活用するようになった。このように行政や地域関係機関との連携における具体的な例を、ヒアリングの中から確認した。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	居室や玄関の施錠を行わず、身体拘束をしない環境作りに取り組んでいる	お客様の普段の様子を見ていて、症状や性格的に、このお客様は順番を待つことができないタイプと判断した場合は、事故や無理な制止等に繋がらないように、優先順位を付けながら生活支援することで、身体拘束や言葉による制止を未然に防ぐようにしている。このような支援を職員皆ができるように、主任が介護記録を中心に職員の支援内容を確認して、必要に応じて支援の具体的な状況を尋ねたり、指導等を繰り返している。また新しく入職した職員に対しては、主任を中心にして凡そ1ヶ月ほど業務を一緒に行い、やってみせて、言って聞かせて、させてみせて、一人前になるまで指導を続けている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	生活の中でスタッフ間で注意しあい、ミーティングの中で知識を深め、虐待防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、必要のお客様はいないが、今後、学ぶ機会があれば参加し、スタッフ間で情報を共有していく		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項を説明し、十分に理解していただき、納得での契約を行っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃からご家族様には、状況報告を行い、意見、要望を取り入れ実践に努めている	今まではご家族様と連絡をやり取りする手段は、面会や電話が中心であったが、法人の代表からの提案で、一部メールを活用するようになった。メールを活用するようになって情報提供が容易になったり、返事が返ってくるようになったりして、導入の効果も出てきている。メール以外にも面会の時やケアプランの更新時等に意見を聴く場面があり、ご家族様から見た気づきや視点の意見を大切にしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的な会議が行われ、意見や提案を聞く機会が設けられている	平成30年度は法人幹部による職員全員の個別面談が実施されたとのことであった。不安や不満、心配事を含めて全般的に聴き取りを行い、優先順位をつけながら運営に反映できるものは反映するようにしている。この1つに職員が仕事ばかりせずに、リフレッシュできるような場を持つことができるように、法人として支援するようにしている。代表は常に職員やその家族が大切であることを繰り返し説明して、次年度以降は1年がかりで代表と職員との面接を予定している。このように職員の意見を幅広く聴いて、可能な限り運営面や処遇面の改善に努めていく方針とのことであった。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフの生活状況を考慮し、就業環境、条件の整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会参加や内部で定期的に勉強会を行い、知識を深め成長できるよう取り組んでいる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会で意見交換を行い、サービスの質の向上に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前からホームを見学してもらったり、本人様の要望に対応できる関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	コミュニケーションを大切にし、意見、要望を話しやすい関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様、ご家族様の意向をきちんと受け止め、サービスを利用できるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に暮らすという意識を持ち、心に寄り添った関係づくりを築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様とコミュニケーションを密にし、信頼関係をつくり、共に本人様を支えている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様の希望に沿って外出支援や面会時、ゆっくり過ごしていただけるように努めている	関係継続の具体的な例として、お客様の百寿のお祝いの際に、身内の集まりがあるということで、送迎やちょっとしたサポートを行い、お祝いの会が円滑に進むように支援を行った。また、法人として地域とのかかわりが深いこともあり、お祭りの際の出し物を施設の敷地内で行ってくれるため、お客様は地域の伝統的な風習を、目で、耳で、肌で感じることができる。更に関係継続の考え方ではあるが、馴染みの場所や人に限らず、お客様が昔から習慣的に使っていた物を一緒に買いに行くことで、間接的かもしれないが、馴染みの物との関係継続の支援も実践している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様、1人ひとりの性格、人間関係を把握し、お互いよい関係が築けるよう支援している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	地域で出会った際は言葉をかけ、近況などを話し、関係づくりを大切にしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の行動、言動を観察し、思いや意向を把握できるよう努めている	日常生活の中で、お客様の表情や言動等の小さな変化に気を配り、観察することで思いや意向の把握に努めている。職員の気づきやお客様の变化などは、速やかに職員間の「グループライン」や「連絡ノート」で共有し、「部署ミーティング」で話し合うことで、思いや意向を客観的に把握する仕組みがある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の会話などを通して、これまでの暮らしの把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の行動、言動を観察し、現状の心身状態を把握するよう努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にケース会議を行い、意見などを検討し、現状に即した介護計画を作成している	面会時に、ご家族様の意向を把握し、「部署ミーティング(主任、副主任、職員参加)」でお客様やご家族様の意向を取り入れながら、目標や支援内容を検討して介護計画を作成している。支援経過は「生活記録」に毎日記録し、計画に沿って支援できているかチェックしている。基本的に、6か月ごとに「部署ミーティング」でモニタリングを行い、ご家族様の希望やモニタリングのまとめを基に、次の介護計画を作成している。お客様に変化があれば、その都度話し合い変更している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	スタッフ間で情報を共有しながら実践し、見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の様子に気を配り、柔軟に支援を行い、サービスの多機能化に取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	老人クラブなど地域との交流や移動図書館の利用も取り入れ、安全で豊かな暮らしを楽しめるよう支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	スタッフが付き添い定期的に受診している。主治医に情報を提供し、適切な医療を受けられるよう支援している	これまでのかかりつけ医を継続している。基本的に職員が受診に同行するが、状態変化時は家族と共に受診している。バイタル等、心身の状況は「特別経過観察報告書」に記録して、医師に情報提供を行っている。受診後は電話やライン(希望者)でご家族様に報告している。医師の指示により、他科受診も行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日頃の暮らしの情報や気づきを伝え、相談しながら受診の支援を行った		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関と情報を共有している。入院中、スタッフが訪問し、連携を図り、関係づくりを行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様と話し合い、今後の方針を共有し、チーム全体で支援に取り組んでいる	入所時に「重度化した場合における対応に関する指針」の説明を行っている。「看取りに関する指針」を基に看取り介護の考え方や視点、医療体制、具体的な支援内容を説明し同意を得ている。協力医療機関とは365日24時間連絡可能な体制が整っている。重度化した場合の対応を、できるだけ早期から、医師、ご家族様、職員で話し合う機会を作り、また、状況の変化のたびに話し合いを繰り返すことで方針の統一を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変に備えて、応急手当などの訓練を行い、実践力を身に付けている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	定期的に避難訓練を実施し、近隣住民の協力体制を築いている	年2回、夜間想定での避難訓練を実施し、地域の特性に応じて、津波発生時の避難訓練も実施している。地元消防団に職員が加入し、地元消防団の訓練に参加する、消防署によるAED研修、消防署が行う訓練に参加する等、研修を行っている。緊急時の近隣住民や民生委員との協力体制も整い、同法人他施設を地域住民の避難場所として提供している。防災のため「火災予防自主点検表」で毎日点検し、飲料水や毛布、食料の備蓄も整えている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーを損ねない言葉かけに配慮しながら対応している	年長者として敬意を払い、お客様の性格を「見極める力」を育み、性格を把握しながら、一人ひとりに応じた言葉かけに努めている。職員の気になる言葉かけがあれば主任が注意し、お客様の尊厳やプライバシーに関する勉強会も行う等、日常的な確認と施設として改善に向けた取り組みを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で思いや希望を深めたり、自己決定が出来るよう心がけている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい生活が出来るよう希望を取り入れながら支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に散髪を行ったり、その方の好みを踏まえて衣類など選べるよう支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理手伝いをできる方には、一緒に調理していただいたり、好みに応じて、食事内容の変更を行っている	お客様の残存能力を活かしながら、もやしの根切りや野菜の皮むき、下ごしらえ等、職員と一緒にやっている。食事形態や食器もお客様一人ひとりの状況に合わせて検討している。地域住民から野菜や魚などの差し入れがあれば、献立を変更して調理する、毎月お弁当の日を設ける、手作りおやつや季節の行事食、紫蘇ジュース作り等、食欲を高め、食事への関心を引き起こす支援を行っている。お客様の誕生日に職員がケーキを作り、ご家族様と一緒に祝っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お客様の状態に応じて、栄養、水分量確保の支援を行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、スタッフがお客様の力に応じて、口腔をチェックし、ケアを行っている		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	1人ひとりの排泄パターンに合わせ、自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、声かけやトイレに誘導することで、昼夜問わず、全てのお客様は布パンツと尿パットで過ごしている。布パンツは、消毒液でつけ置き洗いする等、洗う手間を惜しまない支援に努めている。排泄のたびに暖かいタオルで清拭し、失禁時はシャワーや陰洗を行い、水分補給に努めることで感染予防に繋いでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝の水分補給時に牛乳を提供したり、1人ひとりに応じた水分量に配慮し予防に取り組んでいる		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	1人ひとりの好みの温度などに配慮したり、希望に添えるよう支援をしている	基本的に毎日入浴し、お客様の好み(温度など)や身体の状態に合わせて、一人ひとりに応じた個別の入浴支援を行っている。入浴中は1対1で、ゆっくりと話をしたり、歌を歌ったりと入浴を楽しむ支援に努めている。入浴後は保湿、綿棒で耳掃除を行い、足指先は年間を通して冷風で乾かす等、感染予防にも配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜気持ちよく眠れるよう、日中、散歩などの活動をしたり、体調や希望に応じて休息していただいている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容を理解し、薬の変更があった場合、服用後のお客様の症状の確認に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意な事をお手伝いしてもらったり、楽しめる事を考え、日々の活動に取り入れ支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お客様、ご家族様の希望で支援している。散歩や近くに神社へ参拝などの支援もしている	毎日散歩に出かけ、近くの神社に参拝している。散歩時は、保育所の子も達とふれ合い、派出所のおまわりさんと顔なじみになる、地域の人と話をする等、これまでの生活の継続を図っている。重度のお客様も、車椅子で積極的に出かけ、外気浴や日光浴を楽しんでいる。職員手作りのお弁当をもってピクニックに行く、車で螢を見に行く、好みの洋服を職員と一緒に買いに行く、お客様やご家族様の希望で外食に出かける等、一人ひとりが外出を楽しめる支援に取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お客様の要望に応じて使えるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じて支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日、清掃し、室温、湿度にも配慮し、季節感を取り入れ心地よく過ごせるよう工夫している	毎日2回、床や階段の拭き掃除、換気を行い、湿度、室温をこまめに調整する等、清潔で快適な環境を整えている。お客様に季節感を味わってもらうため、リビングの壁に季節行事の写真や創作作品を飾り、季節の花をテーブルや玄関に活けている。お客様と職員と一緒に花の植え替えを行い窓辺に置いて花の成長を楽しんでいる。定期的にエアコンフィルターやカーテンレールの掃除を行い、トイレの床を消毒液で拭く等、感染予防に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合ったお客様同士、思いおもい過ごせるよう席の配慮を工夫している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	お客様の使い慣れた物をお持ちいただき、使用していただいたり、飾ったりし、心地よく過ごせるよう工夫している	居室には仏壇(毎日、花と水を供えている)やご家族様の写真、タンス、布団、枕等、馴染みの物や使い慣れた物を置いている。担当職員が衣替えや居室のエアコンフィルター、カーテンレールの掃除を行い、各居室に濡れタオルを置くなど(湿度に配慮)感染予防にも努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家具の配置など安全に生活が送れるよう工夫している		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271601223		
法人名	株式会社 新上五島在宅ケアセンター		
事業所名	グループホームあいりん		
所在地	〒857-4402 長崎県南松浦郡新上五島町奈摩郷910-10		
自己評価作成日	平成31年3月22日	評価結果確定日	令和元年 5月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.wam.go.jp/wamappl/hvoka/003hvoka/hvokokka.nsf/aResult?OpenAgent&P=1
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 医療福祉評価センター		
所在地	長崎市弁天町14番12号		
訪問調査日	平成31年4月6日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「心と心のつながりを 人と人のふれあいを大切に」との理念のもと、安心、安全、快適な生活ができるよう支援しております。お客様の個性を大切に目配り、気配り、心配りを日々、心掛け、寄り添ったケアに取り組んでいます

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を目につきやすい所に掲げ、共有し実践している		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事などに参加したり、散歩時、挨拶などで交流している		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域行事において理解していただけるよう関わりを行っている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員、ご家族様に参加していただき情報交換を行い、サービス向上に取り組んでいる		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に参加していただき、意見交換、助言をいただき協力関係を築いている		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	居室や玄関の施錠を行わず、身体拘束をしない環境作りに取り組んでいる		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	生活の中でスタッフ間で注意しあい、ミーティングの中で知識を深め、虐待防止に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、必要のお客様はいないが、今後、学ぶ機会があれば参加し、スタッフ間で情報を共有していく		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項を説明し、十分に理解していただき、納得での契約を行っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃からご家族様には、状況報告を行い、意見、要望を取り入れ実践に努めている		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に会議が行われ、意見や提案を聞く機会が設けられている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフの生活状況を考慮し、就業環境、条件の整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会参加や内部で定期的に勉強会を行い、知識を深め成長できるよう取り組んでいる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会で意見交換を行い、サービスの質の向上に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前からホームを見学してもらったり、本人様の要望に対応できる関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	コミュニケーションを大切にし、意見、要望を話しやすい関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様、ご家族様の意向をきちんと受け止め、サービスを利用できるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に暮らすという意識を持ち、心に寄り添った関係づくりを築いている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様とコミュニケーションを密にし、信頼関係をつくり、共に本人様を支えている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様の希望に沿って外出支援や面会時、ゆっくり過ごしていただけるように努めている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様、1人ひとりの性格、人間関係を把握し、お互いよい関係が築けるよう支援している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	地域で出会った際は言葉をかけ、近況など話し、関係づくりを大切にしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の行動、言動を観察し、思いや意向を把握できるよう努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の会話などを通して、これまでの暮らしの把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の行動、言動を観察し、現状の心身状態を把握するよう努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にケース会議を行い、意見などを検討し、現状に即した介護計画を作成している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	スタッフ間で情報を共有しながら実践し、見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の様子に気を配り、柔軟に支援を行い、サービスの多機能化に取り組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	老人クラブなど地域との交流や移動図書館の利用も取り入れ、安全で豊かな暮らしを楽しめるよう支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	スタッフが付き添い定期的に受診している。主治医に情報を提供し、適切な医療を受けられるよう支援している		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日頃の暮らしの情報や気づきを伝え、相談しながら受診の支援を行った		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関と情報を共有している。入院中、スタッフが訪問し、連携を図り、関係づくりを行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様と話し合い、今後の方針を共有し、チーム全体で支援に取り組んでいる		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変に備えて、応急手当などの訓練を行い、実践力を身に付けている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	定期的に避難訓練を実施し、近隣住民の協力体制を築いている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーを損ねない言葉かけに配慮しながら対応している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で思いや希望を深めたり、自己決定が出来るよう心がけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい生活が出来るよう希望を取り入れながら支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に散髪を行ったり、その方の好みを踏まえて衣類など選べるよう支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理手伝いのできる方には、一緒に調理していただいたり、好みに応じて、食事内容の変更を行っている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お客様の状態に応じて、栄養、水分量確保の支援を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、スタッフがお客様の力に応じて、口腔をチェックし、ケアを行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	1人ひとりの排泄パターンに合わせ、自立に向けた支援を行っている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝の水分補給時に牛乳を提供したり、1人ひとりに応じた水分量に配慮し予防に取り組んでいる		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	1人ひとりの好みの温度などに配慮したり、希望に添えるよう支援をしている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜気持ちよく眠れるよう、日中、散歩などの活動をしたり、体調や希望に応じて休息していただいている		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容を理解し、薬の変更があった場合、服用後のお客様の症状の確認に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意な事をお手伝いしてもらったり、楽しめる事を考え、日々の活動に取り入れ支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お客様、ご家族様の希望で支援している。散歩や近くに神社へ参拝などの支援もしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お客様の要望に応じて使えるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じて支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日、清掃し、室温、湿度にも配慮し、季節感を取り入れ心地よく過ごせるよう工夫している		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合ったお客様同士、思いおもい過ごせるよう席の配慮を工夫している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	お客様の使い慣れた物をお持ちいただき、使用していただいたり、飾ったりし、心地よく過ごせるよう工夫している		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家具の配置など安全に生活が送れるよう工夫している		